

感染症情報 10月29日～11月4日

府下小児科200医療機関(堺市19)から

①感染性胃腸炎	828例(堺市	49例)
②溶連菌感染症	349例(堺市	58例)
③RSウイルス感染症	155例(堺市	10例)
④手足口病	118例(堺市	7例)
⑤咽頭結膜熱	108例(堺市	6例)

府下インフルエンザ定点305医療機関(堺市29)から

インフルエンザ	106例(堺市	12例)
---------	---------	------

が報告された。

感染症報告数は前週比4.0%減の1,842件であった。

報告の第1位は感染性胃腸炎で、以下溶連菌感染症、RSウイルス感染症、手足口病、咽頭結膜熱の順であった。

感染性胃腸炎は府下で前週比22%増、堺市で前週比63%増であった。溶連菌感染症は府下で前週より14%減、堺市で前週71例→58例は18%減であった。RSウイルス感染症は府下で前週より38%減、堺市で17例→10例であった。手足口病が府下で前週より30%減、堺市では前週21例→今回7例であった。咽頭結膜熱は府下で前週より1%増、堺市で14例→6例であった。

インフルエンザは府下で前週90例→今回106例であった(18%増、定点当たりの報告数は0.3)。堺市では前週11例→今回12例であった。

麻疹の報告が豊能で1例あり。風疹が府下で前週9例→今回10例あった(堺市で1例あり)。